

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

熱いおもいを抱いて、多くのボランティアの方々が来てくださいました

寒いところから夜行で  
重労働で食事なし

せんにもりに汚れたトイレをきれいにして

足げんは履き足にビニールシートかけ

つかれてもカニボールにくらべて夜を返し

朝は早しかる坂道と水くみに重かいてまたまた

冷まってきた身心にしみた。あたたかいお湯

これもこれも、みなさんの優しさに直る

ことができました。このご恩は一生忘れません。

ありがとうございました

ふりがな お名前	吉田 清子	年齢	69才
ご住所	兵庫 都道府(県)	芦屋 市(郡)	

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

1.17 忘れられない日です  
亡くなられた方の御冥福を御祈り申し上げます  
励ましの言葉又暖かい支援ありがとうございました  
心から感謝しております  
皆様の御好意も忘れられない日です

ふりがな お名前	おお ち ち 大 輪 昭子	年 齢	62 才
ご住所	兵庫 都道府(県)	芦屋 (市) 郡	

あれから10年たちました  
あの日も寒い朝でした  
早く明るくならないかと、どんなに待ち遠しかったでしょう  
暗い色をした空がいく日も続いていたように思います  
青い空が見えだしたのはどれ程たってからだったでしょう  
10年がたってまちも落ち着き  
六甲の緑と瀬戸の青さがそれまでと同じようにまぶしくなりました

最愛の肉親を亡くされたご遺族の皆さんは  
少しはお気持ち落ち着かれたでしょうか  
震災後に生まれた子どもたちが小学生です  
その小学生だった子どもたちが立派に成人しました

父や母の写真を握りしめて受験した子どもたち  
子どもの形見をいつ時も離さず持ち歩く父や母  
「こんなこどもができました」と墓前に報告する若いお父さんお母さん  
この10年、それぞれの家庭でびっくりするくらい  
いろんなことがありました

悲しみを少しは笑顔に変えて、みんな立派に前を向いて歩いていま

あの時、国道は色彩のない服を着、リュックを背負った人々が  
列をなし黙々と歩いていました  
倒壊した家屋に目をやりながら  
時折立ち止まって手を合わせる人もいました  
サイレンを鳴らして走る車が途絶えることはありませんでした  
何機ものヘリコプターが低空を飛び交っていました  
でも人々は黙々と歩きました

避難所でお互い「がんばろうね！」と手を取り合いました  
そしてたくさんのたくさんの人に助けられました  
日本全国から、そして世界各地からも「ガンバレー」と

今、私たちは鎮魂と復興と感謝の思いを強く込めて歩いています  
一年、一年、目に見えてまちは出来上がってきました  
強いまちとやさしいまちにするために  
そして6千4百余の御霊の無念を晴らすために  
私たちは前を向いて強く歩いていきます

## 阪神・淡路大震災10周年記念

## 「1.17メッセージ」応募用紙

あれから10年たちました

あの日も寒い朝でした

早く明るくならないかと、どんなに待ち遠しかったでしょう

暗い色をした空がいく日も続いていたように思います

青い空が見えだしたのはどれ程たってからだったでしょう

10年がたってまちも落ち着き

六甲の緑と瀬戸の青さがそれまでと同じようにまぶしくなりました

最愛の肉親を亡くされたご遺族の皆さんは

少しはお気持ちが落ち着かれたでしょうか

震災後に生まれた子どもたちが小学生です

その小学生だった子どもたちが立派に成人しました

父や母の写真を握りしめて受験した子どもたち

子どもの形見をいつ時も離さず持ち歩く父や母

「こんな子どもができました」と墓前に報告する若いお父さんお母さん

この10年、それぞれの家庭でびっくりするくらい

いろんなことがありました

悲しみを少しは笑顔に変えて、みんな立派に前を向いて歩いています

あの時、国道は色彩のない服を着、リュックを背負った人々が  
列をなし黙々と歩いていました

倒壊した家屋に目をやりながら

時折立ち止まって手を合わせる人もいました

サイレンを鳴らして走る車が途絶えることがありませんでした

何機ものヘリコプターが低空を飛び交っていました

でも人々は黙々と歩きました

避難所でお互い「がんばろうね!」と手を取り合いました

そしてたくさんのたくさんの人に助けられました

日本全国から、そして世界各地からも「ガンバレ」と

今、私たちは鎮魂と復興と感謝の思いを強く込めて歩いています

一年、一年、目に見えてまちは出来上がってきました

強いまちとやさしいまちにするために

そして6千4百余の御霊の無念を晴らすために

私たちは前を向いて強く歩いていきます

ふりがな お名前	やま なか 山 中	けん 健	年 齢	54 才
住所	兵庫	都道府	芦屋	郡



長

尾

カ

カ

カ

カ

七  
十  
三  
八

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫県 芦屋市・町・村		
フリガナ 氏 名	久保 達 (84歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災後早くも10年。あの怖さは、84歳の記憶の落ち勝ちの私には忘れ  
事がある。1.17日の全行動は今も鮮やかに覚えており、毎朝も毎日  
生きているように感じ、外。放さく昨日から家族とどやつてまはるいのを陸がセ  
情みまし。此の水で近所からの原核を減らす毎日の生活を送りたい。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県( ) 芦屋 ( )市・町・村		
フリガナ 氏 名	古 籍 敏 夫 (82歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

今年(2004.1.17)は芦屋・川西韋韋場からスタートして、子供が  
10年目の節目に西コース 10キロコースに挑戦、なごみ山下(女児)  
の方へ、よく走り続け、共に本意の健康と祈り、日本の安全で  
平和な心豊かな人々の成長と祈願します。



ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

早いもので、もう十年もたつのかと疑いますが、復興のなった町並みを眺め、犠牲になられた方の無念さを心に秘め、ウォーキングしたいと考えます。

(お名前) 芦屋ウォーキング協会 大崎

(年 齢) 64 歳

(ご住所) 兵庫県芦屋市

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

早いものであれからもう10年たちますが

今でも地震があると その時を思い出して怖い気持ち  
になつていきます。

それまでの生活が一変し、思い出の場所や建物が  
なくなつた時の辛い思いは 時の流れでうすくなると思  
いますが、今お子ものを大切にしようという気持ち  
は年を経て更に強くなりました。

これからも強い気持ちで 明日へ向かいたいと  
思っています。

ふりがな お名前	白井 優子	年齢	47 才
ご住所	兵庫 都道府県 高尾	市・郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の時、大阪に住んでいました。

実際にあの当時、神戸がどんなにひどい状態にあったのが見てはいないし、体験もしていないので、重味のないメッセージになるかもしれません。

でも、あの日から人と人との助け合いの大切さ、素晴らしさ、人の温かさに変更で気付かされました。

この気持ちを日々忘れることなくこれからを過ごしていきたい。

ふりがな お名前	佐藤 愛香	年齢	26 才
ご住所	兵庫 都道府県	芦屋 市・郡	

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県	芦屋市	市 町 村
フリガナ 氏 名	河添 綾子 (57歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

水と氷の多い行く事が毎日の仕事でした。寒い寒の中 ずっと立ち話で手伝って  
くれた自衛隊の若い方々 いつも感謝してました。  
災害が次々起っている 今日もし何かで手助けしていらっしゃるんですね。  
頑張ってください。

郵送・FAX用

## 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県	芦屋 市・町・村	
フリガナ 氏 名	ハラダ タロウ 原田 武彦	(32歳)	参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

10年を一つの区切りとして前へ進んで行きましょう。